

令和4年度 大東市総合計画・総合戦略審議会 会議要旨

1. 開催日時 令和5年2月22日（水）午前10時00分

2. 開催場所 大東市役所 本庁舎2階 委員会室

3. 出席者

審議会委員

- | | | |
|---------------|--------|--------|
| ・ 1号委員（市議会議員） | 東 健太郎 | 委員 |
| ・ 1号委員（市議会議員） | 木田 信幸 | 委員 |
| ・ 1号委員（市議会議員） | 水落 康一郎 | 委員 |
| ・ 1号委員（市議会議員） | 中河 昭 | 委員（欠席） |
| ・ 2号委員（学識経験者） | 三吉 修 | 委員 |
| ・ 2号委員（学識経験者） | 澤登 千恵 | 委員（欠席） |
| ・ 3号委員（行政機関） | 松本 龍 | 委員（欠席） |
| ・ 4号委員（市民代表者） | 高島 登 | 委員 |
| ・ 4号委員（市民代表者） | 三ツ川 拓治 | 委員 |
| ・ 4号委員（市民代表者） | 藏前 芳治 | 委員 |
| ・ 4号委員（市民代表者） | 齊藤 高弘 | 委員 |
| ・ 4号委員（市民代表者） | 植田 真彰 | 委員 |
| ・ 4号委員（市民代表者） | 豊芦 勝子 | 委員 |
| ・ 4号委員（市民代表者） | 石井 ゆか | 委員（欠席） |

事務局

- | | |
|------------------|-------|
| ・ 政策推進部長 | 東 克宏 |
| ・ 政策推進部総括次長 | 田中 知子 |
| ・ 政策推進部戦略企画課長 | 福田 悦子 |
| ・ 政策推進部戦略企画課上席主査 | 北谷 友香 |
| ・ 政策推進部戦略企画課上席主査 | 廣田 菜美 |

4. 案件

- ・ 会長の互選について
- ・ 「幸せデザイン 大東（第5次大東市総合計画および第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の進捗の検証にかかる諮問について
- ・ 大東市総合計画・総合戦略審議会について
- ・ 「幸せデザイン 大東（第5次大東市総合計画および第2期大東市まち・ひと・しごと創生総

合戦略)」の進捗の検証について

- ・その他

5. 配布資料

- ・資料1：大東市総合計画・総合戦略審議会規則
- ・資料2：大東市総合計画・総合戦略審議会 委員名簿
- ・資料3：「幸せデザイン 大東」進捗検証報告（案）
- ・資料4：個別アンケート調査概要
- ・資料5：総合計画・総合戦略審議会論点

6. その他

傍聴希望者 0名

7. 発言要旨（協議または調整が行われた事項およびその内容）

【事務局】

本日は年度末のお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、このたび、皆さま方には「大東市総合計画・総合戦略審議会」の委員をお引き受けくださり、誠にありがとうございました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

それでは、只今から、令和4年度 大東市総合計画・総合戦略審議会を始めさせていただきたいと存じます。

はじめに、「大東市審議会等の公開に関する規程」第3条第1項におきまして、本審議会は公開する旨規定しており、傍聴を認めさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

なお、本日は傍聴の申し込みはございませんでした。

それでは、まずはじめに、会議の開催にあたりまして、野田副市長から一言ご挨拶申し上げます。

【副市長】

（あいさつ）

【事務局】

それでは、開催に先立ちまして、委員の皆様のご紹介のお時間を設けさせていただきたいと存じます。

本来であれば、夏に一度審議会を開催することを予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、書類の送付にかえさせていただきました関係から、委員の皆様が集まっていたのは今回が初めてとなります。また、夏に委嘱をさせていただいた後に、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、自己紹介を兼ねて、簡単に一言ずつあいさつをお願いできればと思います。

なお、中河委員、澤登委員、松本委員、石井委員の4名につきましては、本日欠席の旨、ご連絡いただいております。

【各委員】

（あいさつ）

【事務局】

（事務局紹介）

（配布資料の確認）

では進めてまいります。早速ではございますが、大東市総合計画・総合戦略審議会規則第2条第3項の規定に基づきまして、審議会の会長を互選させていただきたいと存じます。なお、会長をご選任いただくまでの間の審議会の議長は、審議会規則に基づき市長が担うこととなっております。本日は市長が公務のため欠席しておりますので、副市長に進行をお願いいたします。

【副市長】

それでは、会長をご選任いただくまでの間、私の方で議事進行をさせていただきます。まず、最初に会長を選任させていただく方法についてご意見をいただきたいと存じます。いかがでしょうか。

【委員】

事務局に一任で。

【副市長】

ただ今、委員から「事務局一任」とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

【各委員】

異議なし

【副市長】

ご異議がないようですので、事務局から会長候補を推薦させていただき、委員の皆さまのご同意を賜りたいと存じます。

【事務局】

それでは、事務局から候補を推薦させていただきます。事務局といたしましては、これまで本市の総合計画に携わってきていただき、昨年度もこの総合計画・総合戦略審議会で会長を務めていただいた三吉委員にお願いいたしたいと存じますので、よろしくご同意賜りたいと存じます。

【副市長】

ただいまの事務局の推薦結果について、ご異議はございませんか。

【各委員】

異議なし

【副市長】

ご異議なしということですので、委員の皆さまの拍手により、ご同意を確認させていただきたいと存じます。

【各委員】

(拍手)

【副市長】

それでは、三吉委員、よろしくお願いたします。会長の選任につきまして、委員の皆さま方のご協力により、無事選任いただくことができました。ありがとうございました。

【事務局】

続きまして、総合計画・総合戦略審議会へ、総合計画・総合戦略の進捗の検証にかかる諮問をさせていただきます。

【副市長】

「諮問書 大東市総合計画・総合戦略審議会 会長 三吉修 様 「幸せデザイン 大東（第5次大東市総合計画および第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の進捗の検証にかかる、貴審議会の意見を求めます。令和5年2月22日 大東市長 東坂浩一」どうぞよろしくお願い致します。

（諮問書の提出）

【副市長】

ただいま、無事に三吉委員に会長にご就任いただき、諮問書をご提出させていただきました。皆さまのお力をお借りし、次の施策へとつながる検証を行いたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、大東市総合計画・総合戦略審議会規則第3条第1項の規定により、本会議の議長は会長がその職に就くこととなっておりますので、以後の議事につきましては、三吉会長にお願いしたいと思っております。

【事務局】

副市長につきましては、このあと公務がございますため、ここで退室させていただきます。ありがとうございました。

それでは、会議に先立ちまして、会長から一言ごあいさつをお願いします。

【会長】

（あいさつ）

それでは、本日の次第に基づいて会議を進行させていただきます。

まず、最初に、審議会規則の第2条第5項に「会長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する」とありますので、その代理者を指名したいと思います。高島委員、お願いできますでしょうか。

【委員】

承知しました。

【会長】

それでは、会議次第にある、審議会についての説明を事務局よりさせていただきます。

【事務局】

(審議会についての説明)

【会長】

次に、配布資料についての説明を、事務局からお願いします。

【事務局】

(資料の説明)

【会長】

では、具体的な議事に入ってまいります。

検証報告につきましては、従来も同様の方法で行っていましたが、23ページを開いていただきますと、「調査結果からの考察」というものがあります。これは行政の立場から行ったものです。黄色の枠で囲われた箇所には、昨年の審議会で委員から意見や指摘があったことについて書かれてあり、また、その下の枠につきましては、委員からの意見を踏まえて行政が令和4年度にどのような取組を行ったのかということが記載されています。24ページでは、これまでの実績や課題、今後の具体的取組、方向性を書いております。

事前に論点についてお示しがされているかと思いますが、まずは、1点目として、全体を通じて、成果がみられる項目と、課題だと感じる項目、その理由をお聞かせいただけたらと思います。

その上で、2点目として、成果や課題の要因として考えられることや、さらに改善するための方策などについて、ご意見を頂戴できればと思います。

お一人3分程度を目安に、お一人ずつご意見を頂戴できればと思います。各委員の意見について質問や意見がある場合は、全員のご意見を聞き終わったあとに時間を取っておりますので、その時によりしくお願いいたします。

【委員】

人口の自然減が続いていますが、日本全国で自然減が続いている状況ですので、大東市として打開策を見つけることは難しい感じています。しかし、労働人口の増加を目指すことはできると思います。大東市は片町線が通っていて、北新地駅まで乗り換えをすることなく行くことができます。新大阪駅には、1回の乗り換えで行くことができるという好立地にありますし、奈良県へのアクセスも良いです。従って、人口流入さえうまくできれば、人口減少はなだらかにできるのではないかと考えています。

【委員】

私も人口減少が大きな問題だと思っています。転出転入アンケートの結果を見ますと、30歳代の転出者が非常に多くなっています。子育て世代の転出が超過しているように感じましたので、教育環境の改善など、思い切った政策をしていただきたいと思います。住道駅前では夜遅くまで塾に通っている子どもがたくさんいます。最近は塾に通う子どもたちが増え、お金がかかるので、一人しか

生まないという声も聞きます。仮に塾の経営者が高い家賃を払っているのであれば、思い切った政策として、学校の空き教室をそのまま塾にするということにはできないだろうかと思いました。そうすれば、学校が終わってそのままを塾に行くこともできます。子育て世代に対して、行政が魅力のあるまちづくりをしていくことで、その世代の転出を抑えられないものかと思いました。

【委員】

検証報告書には、目標値と現在の値が記載されていますが、子育ての項目で目標値と現在値の乖離が大きいと感じました。事務局からの検証報告では、「子育てに関する満足度は高い世代もあり、制度や取組を知っている人においては満足度が高いと推測される」という話がありました。逆の発想で考えますと、知らない人に知ってもらえれば、もっと満足度が上がるのではないかと思いました。全世界に配信されているはずのYouTube動画であっても、なかなか浸透しておらず、アプリやその他のデジタルツールも使われているとは思いますが、浸透していません。情報を拡散する方法をしっかりと検討し進めることによって、子育て世代だけでなく、すべての市民等に情報が行き渡り、知ってもらえるのではないかと思いました。

【委員】

委員の任命を受け、大東市のことを考えてみたのですが、大東市の知名度があまりにも低すぎると感じました。目立ったものがあまりないように思います。野崎まいるの歌がヒットしたのも昔の話になりますので、なんとかして大東市の名前を売ってもらえるような方法を考えていただければと思っています。先ほど、塾の話が出ましたが、各学校で塾のようなものをしてもらえれば、市民はすごく助かると思います。

【委員】

大東に対する満足度と期待度がいずれも低下しているということですが、アンケートの方法に工夫がいるのではないかと感じました。世代によって求める満足の内容は違うと思います。20歳代は職場や商業施設を求める傾向にあり、30歳代や40歳代は教育に期待をされていると思います。高齢者層は医療機関のアクセスのしやすさで満足度が変わる傾向にあるのではないかと感じます。これらの傾向の違いで数字が大きくなるように感じますので、もう一步踏み込んで、満足しない方については、どういう点が満足していないのかを深掘りして聞いてみるのもいいのではないかと感じました。そうでないと施策の力点がぶれるのではないかと感じました。

【委員】

大東市に通勤をしている市外在住者という立場で見ますと、大東市が住みやすいというイメージはついていないという印象です。しかし、大東市で働いてみると治安も良く、便利でいいところなので、なぜ注目されていないのかと不思議に感じています。アンケートの結果や委員の話聞いてみますと、就学前から小学生の子どもがいる中間層に根付いてもらう必要があると感じました。共働きの家庭が増えてきており、その世代に対して重点的に施策を行うと、大阪市へのアクセスもいなので、人口流入が図れるのではないかと感じました。

それ以外の大東市のイメージとしましては、高齢者や空家が多いように感じますので、その対策を行わなければ、まちイメージが上がらないのではないかと思います。北摂と同じような利便性で、一戸建てが買えるというのは大東の魅力です。

また、住道駅前がもっと活発化すればいいと思っています。非常に多くの人々が集中しており、駅から放射状にまちが広がっていますので、通勤時には一斉に人が駅に集まってきます。多くの人々がいますが、なぜかスムーズに回らない状態にあります。これだけ多くの人々が集まるのであれば、活発化する方法を考えることで、もっと活性化でき、楽しい場所になるのではないかと思います。

【委員】

今回のように項目の少ないアンケート調査で、大東市の根幹にかかわる評価するのは難しいのではないかと思います。しかし、住みたい自治体ランキングや大東市に対する満足度、将来への期待度の評価がすべてCとなっており、非常にショックでした。私は大東市がいい場所だと思い、長年住んでいます。大東市のことは飯盛山だけでなく、歴史も含めて学ぼうと思っています。大東市は元々海であり、北新町、中垣内の遺跡では弥生時代の物が発掘されています。大東にしかないものや、ここがどんなまちなのかといったことを、しっかりと市役所の職員も含めて知る必要があると思います。また、自治会とも連携をするとともに、学校、幼稚園と連携していくことで、魅力あるまちがつくっていきけるのではないかと思います。10年計画の3年目でCという評価は残念であり、評価を上げるためにどんな対策を打つのかなと思います。今まで通りのことをやっているのは、評価は上がらないと思いますので、戦略・戦術・作戦がいるのではないかと感じました。

【会長】

今、行政では小学生、中学生、親子をターゲットにして、大東市を知ってもらおう努力をしています。今回作成された動画も小学生に参加していただき、まず子どもから大東に馴染んでもらい、いいところを知ってもらおうという方向に動いているところです。

【委員】

6ページの「大東に対する満足度の向上」で、20歳代が大幅に減少しています。7ページにありますように、20歳代はウェルビーイングなど新しい価値観に対する関心が高いです。また、9ページの「大東の将来への期待度の向上」では、20歳代の肯定的意見が減少し、否定的意見が増加しているとありますが、20歳代を中心とするいわゆるZ世代は、環境や貧困問題への対応といったサステナビリティな社会課題に関心が高いと言われています。例えば、就職についても、企業が掲げるビジョンや意思などを重視して、その企業が社会に貢献できるかどうかで就職を希望することが増えており、エシカル就活とも言われています。若者に対して魅力的なまちになるには、行政として社会的課題に積極的に向き合う姿勢をアピールする必要があるのではないかと思います。20歳代に大東市が魅力的に映っていないということは、採用への応募の減少や、採用後に若年者層が離職することに繋がる可能性があるのではないかと思います。

15ページの社会減・自然減では、依然として転出超過とありますが、前年度と比較して転入者が338人増加していますので、このことに関しましては良かったと思います。

29、34ページの「公共空間が楽しく活用されているまちで、北部や東部で肯定的な意見が増加している」とありますが、morinekiエリアや、四条駅エリア、野崎駅周辺整備へ多額の予算が投入されていますので、今後は本市の玄関口と言われる住道駅の再開発をどうしていくかが重要だと思います。

72ページの行政サービス改革につきまして、経常収支比率が高止まっているというのは、本市の財政構造が硬直化しているということですので、もっと危機的な状況を直視するべきだと思います。

最後に全般的なことになりますが、調査結果からの考察の部分で、「〇〇が必要である」とか、「〇〇が求められる」などの表現が散見されます。課題を抽出されているのはいいことだと思いますが、工程管理がしっかりできるのかと疑問に思いました。今すぐに取り組むべき課題なのか、中長期のスパンで取り組むべき課題なのか、いつまでにそうした課題を解決するのかを決めなければ10年後も変わらない可能性があるのではないかと思います。

【委員】

大東の将来の期待度、満足度の低さについてですが、何に対して期待・満足しているのかは、ライフステージによって変わるものだと思います。その中で、大東市の期待度を考えたときに、特に何も無いのではないかと感じました。大東市に何かしらの発展的要因があって、何か自分に利益が与えられるものがあると期待度は上がると思います。先ほどの委員の話にもあったように、長期スパンでこのまちが発展していくんだという具体的な要因があれば、期待度は上がっていくと思いますので、具体的なきっかけがないままでは厳しいのではないかと感じました。

転出転入アンケートの転出ランキングを見ますと、1位と3位が仕事に関することで、50%超となっています。何のためにこのまちに住むのかが、このアンケート結果に表れています。その上で、まちづくりに何が必要かと考えたときに、教育はもちろんのことですが、産業・企業を誘致し、市内産業を発展させる必要があるのではないかと思います。財政が豊かになれば、塾の補助などの様々な企画をすることができます。好循環につなげるための戦略・計画に具体的な手法を取り入れながら、実行していかないといけないと感じました。大企業が大東市を選んでもらえるような施策が重要なのではないかと思います。

【委員】

20ページの「災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度」ですが、前年度と比較すると上昇しています。自助・公助・共助の観点で、市民の皆さんと行政が対話をしていくことが大事なのではないかと思います。「避難所を知っているか」というアンケートにつきましては、知っている人は5割に満たない状況です。いかにして知ってもらえるようにするかということに力をいれるだけで、安全・安心につながるのではないかと思います。知ってもらう方法につきましては、紙の防災マップもありますが、災害が起きたときに手元にない可能性もあります。今年度、予算がついている防災アプリのようなデジタル技術をしっかりと活用していくことで、避難所の場所を認識してもらえるのではないかと感じました。

【会長】

避難所について知らない人が多い理由としては、今まで大東市が防災対策をしっかりと行ってきたため、市民の皆さんが安心をされていて、その結果、知らない人が多いという可能性も考えられます。大東水害は、1972年7月に起き、防災対策として今の高い堤防ができました。この堤防があることで、市民の皆さんが水害に対して安心しているという面があるかもしれません。

ありがとうございました。それでは、最後に、これまでの委員の皆様のご意見等に関して、ご意見、ご質問等がある方、もしくは、論点以外の部分でご意見等のある方がいらっしゃいましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

新田中央公園に立派な防災備蓄倉庫を作っていただき、感謝をしています。防災備蓄倉庫がなかったときは、災害時に諸福小学校や諸福中学校まで行かなければいけませんでした。私の地域では地域教育協議会があり、幼稚園・小・中学校の先生が参加されています。その先生方に、罹災した時に家族がどこの避難所で落ち合うかを学校等で指導してほしいとお願いしています。地震などが起きた際には、安全が確保されるまではその場所にいるのが大原則ですが、罹災した時は、家族がバラバラのところにいることが多いと思います。大東市全体で、落ち合う場所を決めるということを進めてほしいです。

また、防犯カメラ、防犯灯は補助金がありますが、食料備蓄の補助金はありません。食料は5年程度の消費期限となっており、地域のお金で買ったものですが、処分しないといけません。従って、食料の備蓄についても助成が出るようお願いしたいです。

【会長】

一般的に食料の備蓄は個人で行うことが推奨されていますが、消費期限がありますので、少しずつ使いながら更新をしていくことが大切と言われています。自治会でも時期をずらしながら、備蓄品の更新を行っていくことを行政として伝えていけるといいかと思います。

【委員】

「大東市が選ばれるための取組みを推進すること」に対する具体的な視点がほしいと感じました。大東水害の話がありましたが、大東市は水害対策をやっているということをもっと具体的にPRしていくと市民の満足度もあがるのではないのでしょうか。深北緑地は楽しく遊ぶことのできる場所であるだけでなく、水害から私たちを守ってくれています。下水道も約99%完備されています。過去にゲリラ豪雨があった際に、昔の樋門やポンプ場も残していくという方向になりました。マンホールが吹き上がらない対策も行っていますので、そういったことを子どもたちや市民に伝えていくことが大事だと思います。大東市は交通の便が良く、国史跡に指定された飯盛城跡をはじめ、農業遺跡もたくさんあります。三好長慶という近畿圏を制覇しようとした武将がいたまちですので、大事にしていきたいと思っています。

【会長】

大東水害の時は下水道の普及率が非常に低い状況でした。大東水害の訴訟では大東市は、被告となっていますが、国と大阪府の用地買収を手伝っただけで、大東市には責任がないという裁判結果が出ています。水害の原因としては、野崎駅付近にある川の改修を下流からではなく、上流から行ったことによるものです。今後の心配な点として、東南海地震では梅田辺りまで津波がくると予想されています。そうなったときの集合場所をどうするのかということも大東市として考えていく必要があるかもしれません。

【委員】

大東市は他市に誇れる政策をしていると思いますが、組織として縦割りで、横とのつながりが薄いのではないかと感じています。市のデジタル化を周知していく際に、様々な部署とつながり、協力をすれば、もっと普及するのではないかと感じています。例えば、包括ケアシステムと防災システムが連携して、地域を巻き込んで進めていけば、もっといいものになるのではないかと感じました。

大東市の公式 YouTube チャンネルの登録者数も伸びていないように感じますが、例えば市職員や市議会議員の皆さんがフォローするなど、皆さんで協力していく体制が大事ではないかと思っています。

【委員】

大東市は住道駅中心に広がってきましたが、大手金融機関や大手企業が大東市から撤退していています。金融機関の立場から見た今後の大東市の産業の展望を教えてくださいたいです。

【委員】

金融機関自体が、昔の考え方とは随分と変わってきています。高度経済成長期の金融機関の1番の目的は、お金を集めて、産業界に回すことでした。今は決済基盤を提供する側に移行している中で、さらにICTやDXが進むと10年後には銀行に直接来られる方がほとんどいなくなります。

金融機関から見た大東市は立地面で価値があり、資産もあります。今後、金融機関は相談業務に重きを置いていく方向になると考えていますので、不動産や、まちづくりに関して協力して進めていくことができればいいと思います。

産業に関しましては、技術力の高い会社がありますが、後継者問題が大きな課題となっています。M&Aや事業承継をどうするかであったり、従業員になかなか定着してもらえない、募集をしても集まらないという問題もあり、人の確保などが深刻になっています。そういった中でDXを進めながら、事業の展開を支援することが大事だと思っています。いい土地があり、利便性が高く、注目度の高い地域なので、うまく会社を呼び込んで、市と金融機関がうまく絡んでいけば、産業が発展していくのではないかと思います。

【委員】

大東市として立地の良さを活かさないといけないと思いますし、観光資源もしっかりと活用して、交流人口も含めて人が集まるような政策を行わないといけないと思いました。

また防災の話では、地域防災計画はありますが、地区防災計画を行政として推進していかないといけないと思いました。自主防災組織がありますが、地区防災計画をボトムアップ形式に行っていく地域には補助金を充実していくことも必要ではないかと感じました。

アンケートの取り方に関しましては、アンケート数としては統計学上、有効であるという評価を市としてされていますが、年代別で見たときに20歳代からの回答は59人だけになっています。かたや、70歳代に関しては300人以上からの回答があります。それだけの差があって、はたして統計学上の有効性はあるのかという疑問が残ります。また年代別の価値観の違いもありますので、アンケートの取り方に課題があると感じました。アンケートの送り方について、各年代に対してどのような取られ方をしているのか、事務局から説明をお願いしますか。

【事務局】

アンケートは年齢構成比に合わせてお送りをしており、2000人中、約27%の高齢者世帯に送付させていただきました。しかし、返送されたアンケートにつきましては人口構成比と異なります。その結果が報告書にお示ししているものになります。若い方は、アンケートの返送率が低いという現状がありますので、昨年度から郵送だけではなくウェブ回答も行ったところ、アンケートの回収率が35%程度から40%を超える結果となりました。しかしながら、高齢の方の回答率が依然として高くなっているという現状があります。先ほど委員からご意見がありましたように、実際の年齢構成比に合わせて、この統計結果をウエイトバック集計という形で補正をかけることもできますので、そういった方法も今後検討していきたいと考えています。ただ、そうなりますと若い方の意見はさらに厳しいものとなる可能性もありますので、分析の方法は今後の検討課題だと認識しております。

【委員】

ぜひ深掘りをしていただきたいです。また、若者に対してアンケート回収率を上げる工夫もしていただきたいです。

【委員】

「子育てするなら、大都市よりも大東市。」というブランドメッセージを知っているという方が、大東市内外共に少なくなっています。アピールの仕方を考える必要があると思います。

47ページの「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合がCになっています。また、不登校児童・生徒数が増加傾向にあります。何か手を打たないといけないという中で、1つ提案です。大東市には野外活動センターがあり、安い費用で宿泊することができます。5年ほど前には大東市の子どもたちにたくさん利用してもらうために条例を変えて、市内の子どもたちは日帰り利用が無料となりました。大東市に住んで、子育てをしている人たちにもっとわかりやすくPRすることと、机上だけでなく具体的に体験できるということが、柱として必要なのではないかと思います。

【会長】

2点お話をさせていただきたいのですが、1点目は70ページの考察のところで、「高校生や大学生に対して市内産業の魅力を伝えることが必要」、「企業のデジタル化を進めるには人材不足が課題になっている」とあります。また、審議会からの意見として、「学生・大学・企業・大東市の4者が連携して進めること」とあります。そこで、昨年の審議会でも「大東メッセというものを行って、大学や企業だけではなく、一般の人にも市内の企業がどんなことをしているのかがわかるようなものをしてはどうか」とお話させていただきました。

2点目としまして、「こども新聞」や「市勢要覧」などを作成されていますが、こういったものは公共施設にしか置かれていません。市民にどこに置いてあるかなどは伝わっていないように感じます。従いまして、市民と行政との接点を拡大する努力が必要ではないかと思っています。その時に、小さなお子さんや小学生などを対象に接点を増やしていくことを進めていけばいいのではないかと思います。

大東市は、大阪府内のふるさと納税ランキングで2位となっています。1位は泉佐野市で全国5位です。府内の3位が門真市です。大東市はそれくらい魅力的なまちであると思われる可能性があります。こういうことを市民に伝えたり、市勢要覧に入れてもらえると大東市の魅力が伝わっていくのではないかと思います。

委員の皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。それでは、本日の議題は以上で終了させていただきます。

なお、本日の皆様からのご意見を踏まえ、答申として取りまとめを行いたいと思います。この答申につきましては、一旦、案として取りまとめ、書面上で皆さまにご確認いただくことを予定しています。皆さまにご確認いただいたあとの最終の答申につきましては、私に一任していただくということで、よろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし

【委員】

1つだけ質問ですが、本日伝えきれなかったことや、提案などを文書発言させていただいてもよろしいでしょうか。

【会長】

結構です。

皆さま、ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】

三吉会長、皆さま、ありがとうございました。

本日皆さまから頂戴いたしましたご意見につきましては、今後の本市の取り組みにつなげていけるよう、外部検証の結果の報告として公表するとともに、庁内各課にも周知することを予定しております。

ます。

それでは、本年度は、皆さまに集まっていただき意見交換をしていただく会議は、本日の1回のみとなります。このあと、答申案の確認及び出来上がった答申のご報告など、都度ご連絡を差し上げたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。なお、任期は来年の3月末までとなっておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして会議を閉会いたします。皆さま方には、お忙しい中ご参加いただき、また貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。